

広がる 善意の輪

東日本大震災～東北アンテナショップのいま



東日本大震災で大きな被害を受けた東北各県。その東北各県が首都圏の人に地元の魅力を知ってもらおうと開設しているアンテナショップが、いま、にぎわいをみせている。東北出身者に限らずさまざまな人が来店。商品を購入することで東北を応援しようという動きが見られるのだ。復興へ向かう東北を支えようとい

う「絆」が、東京でも広がっている。このうち福島県の観光情報の提供や同県産の菓子や酒の販売などを行っている福島県八重洲観光交流館(東京都中央区)。震災直後は交通網の制限などもあり、商品の仕入れは十分ではなかったものの徐々に客足が増加。通常約300種ある商品の品ぞろえは

現在も通常の8割程度にとどまっているが、来店者は2倍を超える勢いだ。2日の土曜日には開店後から多くの買い物客が訪れ、商品を手にレジ前に長い行列をつくった。富田潤也館長は、「被災地を支援しようという人が多く来館し、県産品を購入してくださるのは非常にありがたい」と語った。



岩手 銀河プラザ(東銀座)

生鮮食料品など幅広い品ぞろえが人気の「いわて銀河プラザ」(東京都中央区)だが、震災直後は仕入れが止まり、在庫も3分の1に。現在は精肉や玉子、乳製品など通常の7割程度まで品ぞろえも回復。「いつもよりも1品多く買おうというお客さまが多い」(大竹幾子岩手県東京事務所主任)。



宮城 ふるさとプラザ(池袋)

「宮城ふるさとプラザ」(東京都豊島区)は、3月の3連休以降、訪れる買い物客が通常より2、3割増えた。「沿岸部の水産加工品などは品薄状態」(上野剛店長)だが、4日からは被害の大きかった南三陸町の商店が震災前に収穫した新物ワカメなどを販売するイベントも始まり活気づく。



青森 北彩館(飯田橋)

「あおもり北彩館」(東京都千代田区)は、震災直後から10日間ほど仕入れが止まった。常温商品から徐々に品ぞろえが回復。一時落ち込んだ客足と売り上げも現在では震災前の水準まで戻った。2日(土曜)も数の子などを漬けた「ねぶた漬け」などを求める人のにぎわった。



福島 八重洲観光交流館

「福島県八重洲観光交流館」では2日、JA全農福島による青果物の直売が行われた。用意したアスパラやタラノメなどは20分弱で完売。イチゴなどを購入した東京都大田区の女性は、「福島の農産品はおいしく安全なのに風評被害がひどいと聞いて、いてもたってもいられず来た」と話した。

東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
私たちは、震災復旧・復興を全力で応援します。

- | | | | | | | | | | |
|------------|---------------|------------------|-----------|----------|--------------------------|----------------------------|-----------|-----------|---------------------------|
| (株) ナバツク | (株) アイ・シー・アール | 新日本コンピュータサービス(株) | (株) アステック | (株) リクルー | (株) 柴田書店 | 台湾観光協会 | 韓国観光公社 | 中国観光局(東京) | (財)アジア太平洋観光交流センター (APTEC) |
| 東京支店長 新垣隆太 | 代表取締役 井本裕順 | 代表取締役社長 小森谷昭夫 | 代表取締役 内山繁 | 執行役員 富塚優 | 代表取締役社長 土肥大介 | 東京事務所所長 黄怡平
大阪事務所所長 王紹旬 | 東京支社長 金榮湖 | 首席代表 范巨灵 | 理事長 本田勇一郎 |
| | | | | | 一般社団法人観光振興懇話会
会長 大島利徳 | | | | |

観光経済新聞社は広告掲載料の一部を日本赤十字社に寄付し、人道支援に役立てていただきます。